

競技規定 (注意事項)

◇ 競技方法 ◇

1. 賢友流競技規定ならびに (公財) 全空連競技規定を併用して行う。
2. 競技種目 形競技 (個人・団体)、組手競技 (個人・団体) 詳細は別紙の通り。
3. 対戦相手の間違いが生じないように、各コートでゼッケン番号を確認して競技を開始する。
4. 判定に際し、ビデオは採用しない。

【形競技概要】

- ・赤青の旗判定によるトーナメント制。(同時演武)
- ・小・中学生団体戦は1チーム3名必要で、足りなければ棄権とする。
- ・気合い発生は可とする。(マスクを着用してもよいが、着用する場合は白色に限る)

幼児	道場の指導形～平安の形より演武。同じ形を連続して演武しても良い。
小学生4級～無級 小学生団体1年～3年	平安の形のどれを演武してもよい。同じ形を連続して演武しても良い。
小学生1級～3級 中学生・高校生 段外 一般・壮年 段外	平安の形のどれを演武しても良い。ただし、同じ形を連続して演武できない。
小学生・中学生 有段	演武形はベスト8決定までは平安の形で連続可とする。ベスト8以上は平安を含む自由形とし、同じ形を連続して演武できない。
小学生団体4年～6年 中学生団体	演武形は平安を含む自由形とし、同じ形を連続して演武できない。
高校生 有段 一般・壮年 有段	演武形は <u>平安を除く</u> 自由形とし、同じ形を連続して演武できない。
海外支部所属選手	演武形は平安を含む自由形とし、同じ形を連続して演武しても良い。

【組手競技概要】

- ・勝敗：6ポイント差で勝ちとする。ただし、団体戦及び幼児は4ポイント差で勝ちとする。
- ・競技時間：高校生・一般・壮年は1分30秒フルタイム。
：幼児・小学生・中学生は1分フルタイム。
- ・小学生団体戦の先鋒・中堅・大将戦においては、個人戦と同様に勝敗を決する。(引き分けはなしで代表決定戦なし) 2人が先に負けても3人目は競技を行う。
各1チーム3名(2名でも出場可) 先鋒1、2年、中堅3、4年、大将5、6年 男女混合
- ・中学生・高校生はカデット・ジュニアルールを採用する。(面に拳サポーターが触れても違反)
- ・小学生以下については、「12歳未満の組手競技規定」を採用する。
- ・10カウントルールは採用する。
- ・気合い発生は可とする。(メンホーに装着するマウスシールドは任意とする)

必要な安全具一覧 ○：必要 △：装着を推奨する -：不要

安全具	幼児 男女	小学生・中学生・高校生 男女	一般・壮年 女子	一般段外・壮年 男子	一般有段 男子
面 (マウスシールドは任意)	○	○	○	○	○
拳サポーター	○	○	○	○	○
胸あて (道着の中へ着用)	○	○	○	○	○
インステップガード・シンガード	△	△	△	△	△
金カップ	△(男子)	○(男子)	-	○	○
マウスピース	-	-	-	-	-